

【山梨県の概要】

1 水稲

(1) 山梨県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は4,880haで、前年産に比べ10ha減少した。

また、主食用作付面積は4,800haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数がやや多いとなったことから「やや少ない」となり、登熟は、出穂期以降、天候がおおむね順調に推移したことにより「平年並み」となった。

(3) この結果、山梨県の10a当たり収量は529kgで、前年産に比べ12kg減少した。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された山梨県の作況指数は97となった。

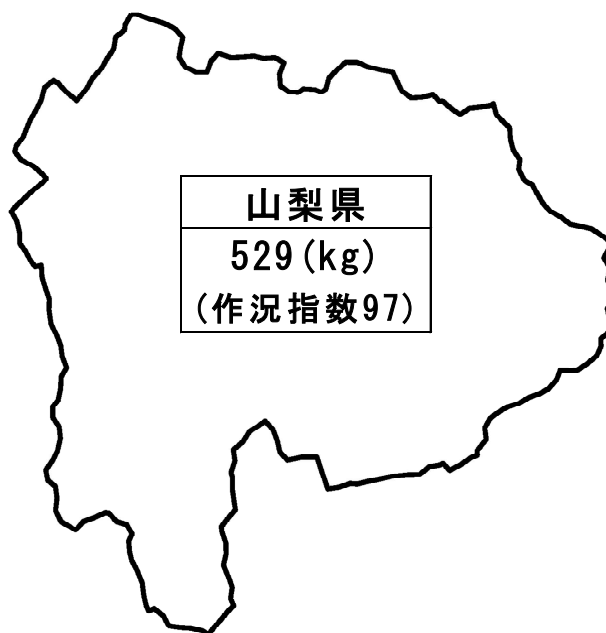
(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は2万5,800tで、前年産に比べ700t減少した。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は2万5,400tで、前年産に比べ600t減少した。

2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

図 水稲の10a当たり収量及び作況指数

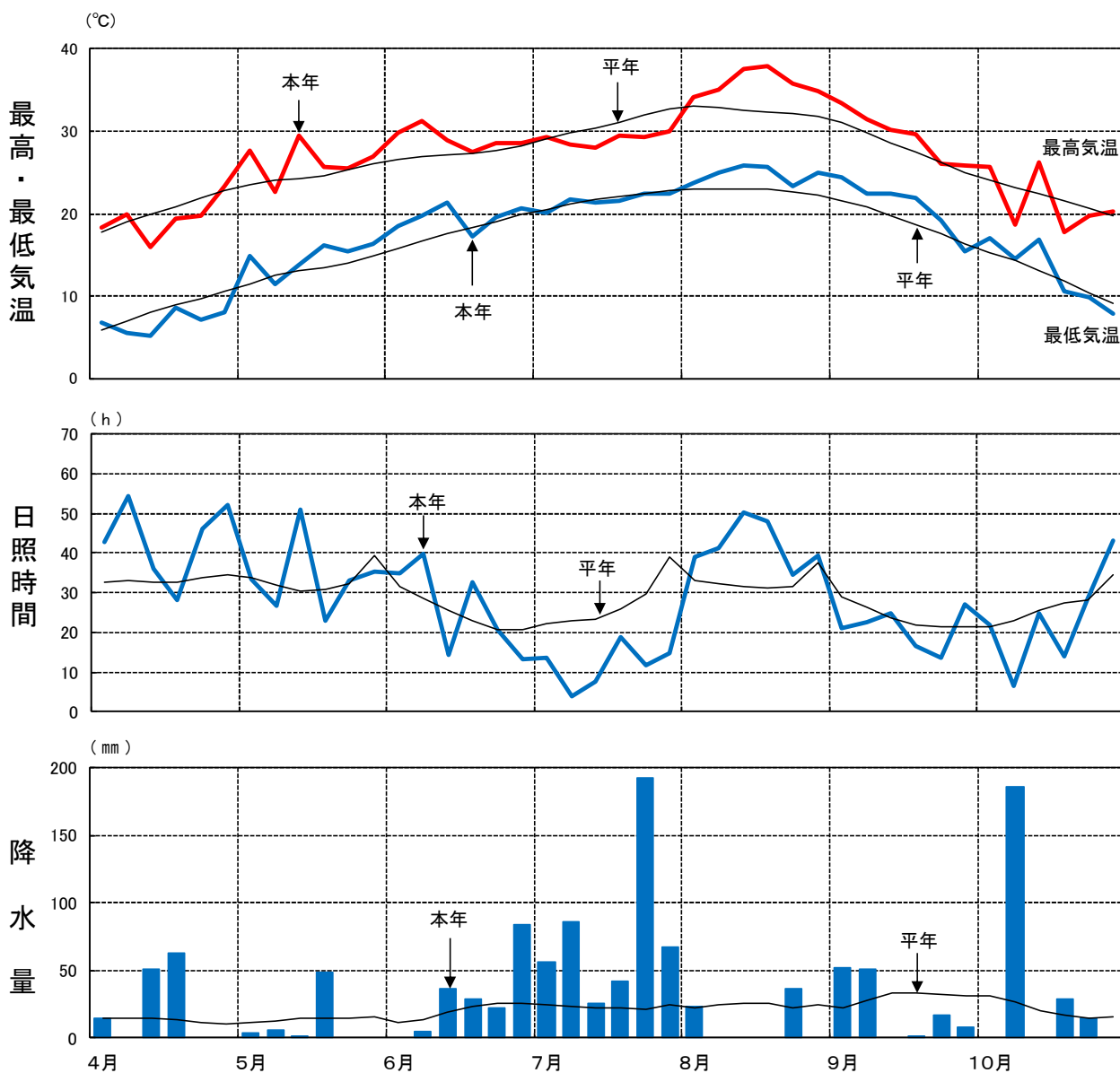


○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。

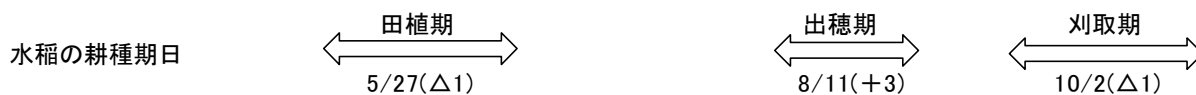
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（甲府）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。

なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 山梨県拠点 統計チーム
 電話：055-254-6019
 F A X：055-254-6059